

瑞雲

ずいぶん

第97号

明日を拓く 直方鉄工青年会

直方鉄工青年会 福田 雄介
第49代会長

■平成25年度スローガン■

FIGHTING MAN

～夢は大きく心は一つに～



皆様、新年あけましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

あらためまして平成25年度直方鉄工青年会第49代会長を務めさせて頂いております、福田雄介と申します。昨年中は関係各位の皆様にご支援ご指導を頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。

さて昨年の活動を振り返り、最初に思い出されるのが、4月通常総会・懇親会で大勢の来賓や特別会員の皆様を前に、ご挨拶をさせて頂いたことです。あのなんとも言えない緊張感を歴代会長も味わってきたのだと思うと、とても感慨深いものでした。

6月には経営者育成の一環として、会員企業の事業内容を発表する勉強会を開催し、各社が研鑽に励み得た技術力で、唯一無二の製品を作り出していることを知り、頼もしくもあり負けてはいられないと、気が引き締まったものです。

7月と11月には、日頃からお世話になっております地域への声援、そして直方鉄工青年会の活動をPRする場として、直方代表する二つのまつりに参加しました。7月の夏まつりでは、若手会員を中心にカレーライスや唐揚げと飲み物を販売するテントを出店、二年前に当会が生み出したご当地ヒーロー「鉄男47(テツマンフォーセブン)」も登場しました。11月の産業まつりでは、小さな子供を対象にした燃料電池ミニカーの制作から、ものづくりの楽しさを体験して貰いました。来場された皆様には、またのお越しをお待ち申し上げます。

そしてよいよ目前に迫った50周年記念事業の準備です。今年度はその準備を行う委員会を設置し、準備の舵取りと毎月開催される全体会議の運営を担ってまいりました。また、常設委員会には毎月の企画事業の運営と同時進行で、50周年記念事業に関わる案件の協議と、非常に濃密な委員会活動を行ってまいりました。全員の日々の努力が実を結び、来年5月の記念式典と9月の記念事業の大枠を決定するに至りました。2月総会では50周年に臨む来期会長

をはじめ組織も決まり具体的な準備が本格化します。青年会らしい50周年を迎えられるよう、今期で行える準備に精一杯取り組んでまいります。

また3月には、功績ある6名の卒業生を送り出すこととなります。来年度以降も毎年卒業を迎える会員がいるなかで、会員拡大に奔走しておりますが、今年度は未だ1名の入会に留まっております。特別会員の皆様におかれましては、適齢期のご子息やご親類がおられましたら是非ご入会をお薦めして頂き、50周年そして100周年と飛躍する我が直方鉄工青年会の未来へ、何卒お力添えをお願い申し上げます。

今年度はスローガンを「FIGHTING MAN～夢は大きく心は一つに～」とし活動をしてまいりました。会員が皆その意図を汲み取り懸命に青年会活動に励み、先に述べた事業はどれも思い出深いものばかりとなりました。しかし私自身、会のトップとして戦えたのかといえ、まだまだだったのではないかと思います。今期させて頂いた貴重な経験を活かし、直方鉄工青年会と社業発展のため、全力を尽くし戦い続ける所存です。任期もあと僅かですが、50周年に向け皆が心一つに臨めるよう会全体の機運を盛り上げることに、そして一人でも多くの新入会員を獲得することに努め、来期へバトンを渡したいと思っております。

最後に、特別会員をはじめ関係各位の皆様、そして会活動に励む青年会会員とそれを支えるご家族の皆様、温かいご支援を賜りましたことに心よりお礼申し上げますとともに、50周年を迎えます直方鉄工青年会の活動により一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願ひ申し上げます。貴重な機会を与えて頂き、ありがとうございました。

卒業生あいさつ



飯野 一義
第39代会長

直方鉄工青年会の卒業を迎えて

私は平成4年（1992年）に父の突然の他界により急遽、東京から戻って社長に就任しました。当時は、不安や恐れと焦りの中で苦悩しながら経営をしていた様に思います。それから4年後の平成8年（1996年）に吉田先輩、篠崎先輩のご紹介で入会して約18年の年月が経ちました。これまでに多くの先輩、同級、後輩の皆さんとの関わりによって、共に学び共に成長させて頂きました。特に、平成15年（2003年）に第39代会長を務めさせて頂いたことによって、創立40周年の準備や他団体との交流事業を通して組織力を最大限に発揮するための大切なリーダーシップ力とチームワーク力を実体験として研鑽することができました。直方鉄工青年会という素晴らしいチームの仲間と出会えて「一所懸命に努力する人に支援する理由は要らないこと」や「あいつかじゃなくて、あいつなら」と期待されるような行動力などが今日の私の価値観（モノの見方、考え方、行動の仕方）の根幹を育てて頂きましたことに心より感謝申し上げます。そして、創立50周年を迎える現役会員の皆さんにはどんな厳しい変化の時代でも熱い心をもって果敢に挑戦することをお願いします。最後に、ウィリアム・ジェームス氏（心理学者）の名言を贈らせて頂きます。

「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。運命が変われば人生が変わる。」

出愛に感謝



福山 貴信
第40代会長

新年明けましておめでとう御座います。

本年も宜しくお願い致します。

平成5年 直方工業㈱ 篠崎社長のご紹介で本会に入会し、21年間長い様で短い様な時間を過ごさせて頂きました。21年間を振り返るに1番に思うのは、これまで御一緒させて頂いた先輩方、後輩諸君、関係各位、の皆様に対します「感謝の気持ち」です。

特に紹介会員の篠崎先輩には本会をご紹介頂いた御礼と感謝を申し上げます。

青年会は卒業致しますが、今後共ご指導ご鞭撻、宜しくお願い致します。

平成5年の入会時と平成26年現在、様々な事柄が変わっており入会時はバブル崩壊直後でしたが、まだ経済は動いており仕事もアフターも忙しかったと記憶しています。その後毎年の様に良くなることを期待していますが、未だ願い叶わずと言ったところでしょうか。

最後に現役の皆様には今後も「良く遊び」「欲く学ぶ」の青年会精神を今後も伝統として引き継いで頂き50周年～100周年へ活躍し続けてください。

「時に及んで当に勉勵すべし。歳月は人を待たず。」



黒岩 義泰
第44代会長

今年度、卒業を迎えることとなりました。澁谷先輩のご紹介により、平成6年に直方鉄工青年会に入会させて頂き、諸先輩方のご指導や諸会員のご協力があったからこそ、今日まで、仕事や会活動に頑張ってきたのではないかと考えております。青年会活動を振り返ってみますと、入会当時あまり会の趣旨などを良く理解できず、会活動に漠然と参加していた自分がいましたが、矢山先輩が会長の時、「ものづくり事業」の一貫でソーラーカーの製作がありました。その当時は、仕事を終え夕方から深夜まで、製作に頑張ったものでした。自分の職業を活かした電気部分の製作に携わり、大変だった日々でしたが、とても充実した時間、協力して完成した達成感、共に苦勞をした仲間、私自身の中で、漠然としたものから形になった瞬間だったように思えます。また、44代会長をさせて頂いた時、組織を動かす難しさや楽しさ、支えて頂いた皆様への感謝の気持ちなど、色々な経験をさせて頂いた事は、今後の私にとって大きな糧となると思います。私は直方鉄工青年会に入会させて頂き、会員として会活動に参加出来て本当に良かったと思います。多くの先輩や友人を持つ事が出来、卒業を致しましても、この財産を大切にしていきたいです。50周年の成功と100周年へ向けて、皆様方への益々のご活躍をお祈り致します。諸先輩及び諸会員の皆様、長い間有難う御座いました。これからも、宜しくお願い致します。

卒業生あいさつ



岡村 二郎

今年度卒業することになりました岡村です。44代の黒岩会長の時に入会させて頂き早くも6年が過ぎ本当にあっという間でした。もともと人見知りな為、最初はなかなか溶け込めて無い感満載でしたが、温かい先輩方や現役会員の皆さんに恵まれなんとか辞めずに続けることができました。そのおかげで青年会に入会していなければ経験することのできなかった「カート」や「アイスホッケー」などの多数の事業。また委員会活動では学ぶことがたくさんあり本当に自分にとって大切な6年間となりました。来年度は、青年会50周年。現役会員で迎えられないのは大変残念ですが、今まで青年会に何一つ貢献できなかった分、卒業生として協力できることはやりたいと思っています。卒業しますが今後も皆様お付き合いの程宜しくお願い致します。素敵な思い出をありがとうございました。



伊藤 聡

青年会に入って約5年。短かったようでもあり、もうそんなに経ったのかな、という気もします。

大先輩の方々から若手メンバーまで多くの方々を知り合えたことはもちろんですが、我々の代はご存知のように同級生が多く、おかげで会に馴染みやすかったのかな、と感じています。仕事に遊びに、長く付き合える仲間を得たことは大きな財産です。

5年の在籍期間中に自分自身の社長就任を迎え、みんなに激励してもらったことも、色々考えさせられることとなり、いいタイミングだったと思っています。

ところで、伊藤と言えば『博多にわか』ですが（なんでじゃ）、しゃべりは苦手、でも喜ばれたい、印象を残したいという矛盾する欲求を満たすツールとして、時々やらせてもらいました。（喜ばれてるのか？）「芸は身を助く」とはこのことかと思っていますが、たまに身を削っています。

メンバーの仲がいい、というのが青年会の特長だと思いますが、単なる仲良しクラブにならず、懇親を深めることに留まらない前向きな活動を展開されることを願っています。



中村 大志

直方鉄工青年会卒業にあたって、入会から23ヶ月という短い間でしたが大変勉強になる月日でした。一番の思い出は入会までの道のりです。

入会に関しては以前より勧誘を受けておりましたが、他団体の活動等で43歳になり一番初めに声をかけて頂いた桑原君（以下英さん）に電話でアポをとり会社に伺ったのは2012年3月28日であります。

会社に伺い英さんに入会したい旨を話した所、英さんの反応は「えー今頃ですか」と大変迷惑そうでした。三役に相談しないとわからないという事で後日返事ということで、田淵会長の面接があるということで、すし清での第一声が「中村さん残り少ないから会の行事全部出れますか？でれんと入れれんですよ」いかにも迷惑という雰囲気でありました。

そんな私が無事入会し総務委員会にての9月事業の企画を練る中でみんなとの一体感を感じることができました。

短い中で私なりの青年会活動の要は、やはり委員会活動でいかに会長の思いを形にしていけるか、その中で自己成長をはかり、それを会社経営に活かしていくことではないかと思っています。今後50周年に向けて一致団結しこの会が100年その先まで続くことを願っております。短い間ですが楽しめました。みんなありがとうございます！！

年間活動報告



4月 通常総会



5月 50周年準備会議



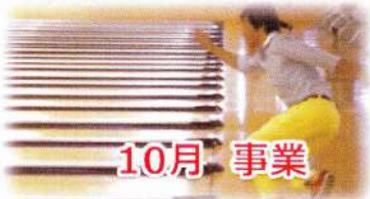
6月 経営事業



8月 家族対象事業



7月 夏まつり



10月 事業



9月 スポーツ事業



12月 忘年会



11月 産業まつり

新たな仲間のご紹介

有限会社 川筋車体 山本 修二 君



10月より 直方鉄工青年会に入会させて頂きました、有限会社 川筋車体の山本です。仕事は、直方三中近くの土手下でひっそりと自動車の修理業をやっています。色々な方々とのご縁を大切にしながら、青年会の事についても少しずつ勉強させて頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。

赤ちゃん誕生！！

航太郎 君(H25.5.29)
父親 小野 龍平君

